

平成 23 年 発達障害者支援の実態調査について

1 調査の目的

発達障害者の支援体制の整備・実施については、平成 19 年、発達障害者支援センターが設置され、以来、同センターでは必要に応じ保育園・幼稚園等を訪問し、支援のための連携強化に努めてきた。

特に、乳幼児期における早期発見と支援の必要性から、平成 23 年 4 月から 6 カ月児育児相談において「相談支援ファイル」の配布を開始したが、支援センターではこれに先立ち、平成 22 年度より「発達障害者家族支援・支援体制サポート強化事業」を実施した。具体的には、支援サポートコーチを発達障害者支援センターに設置し、幼稚園・保育園の巡回指導を実施、専門的な見地から必要な助言・指導を行うもので、訪問した園からは、現場における在園児に対するプランの作成と実践によって効果の確認ができたとの意見が得られた一方で、さらに継続した専門的な支援を望む声が寄せられている。

支援サポートコーチによる巡回指導 2 年目を迎え、今後発達障害者支援体制整備検討委員会において、発達障害児に対する支援体制のあり方や支援方法を検討していくにあたり、発達障害児支援に対する意識づけの強化が必要と考えられる幼稚園・保育園における発達障害児の状況や、支援体制の現状等の実態調査を実施することにより、これら就学前の発達障害児に必要とされる支援や、園における支援の課題などが明らかになるものと期待される。

2 調査内容

別紙発達障害児実態調査(案)のとおり

3 調査対象及び実施方法

対 象…公立幼稚園(68 園)及び公立保育園(107 園)

実施方法…全園に対して調査票を郵送、調査票に記入してもらう。

また、各区ごとに複数園を抽出し、実地調査を行う。

スケジュール… 実態調査 平成 23 年 11 月 実地調査 平成 23 年 12 月
調査結果とりまとめ整理等 平成 24 年 1 月